

これからのまちづくりについて意見交換

工事中から完成後に至るまで、神門通りを活用するたくさんの方々のアイデアをいただきました。いただいたご意見も参考にしながら、工事中も地域のみなさんや観光客に楽しんでもらえるイベントを検討してみようと思います。

※事業工程は現在検討中であり、期間が変更になる可能性があります。

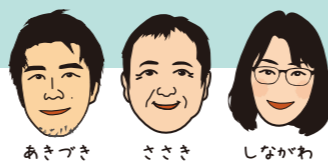


年次	事業のスケジュール (案)	いただいたご意見	
		工事中のPR	イベント開催
2018			
2019	迂回路設置工事	<ul style="list-style-type: none"> 完成予想図の設置 工事の進捗のこまめな情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 宇迦橋「感謝祭」 工事見学会 (親子向け・観光客向け) 園児・小学生・中学生の参加 石畳へのメッセージ記入 子どもの体験・学習コーナーの常設
2020	宇迦橋撤去		
2021	橋梁工事 (下部工・上部工・護岸工)	<ul style="list-style-type: none"> SNSのアカウント作成 (工事期間中のPR) 工事の進捗を見られるライブカメラの設置 施工業者の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 事業のドキュメンタリービデオの作成 高欄の点灯式 渡り初め (親・子・孫の三代渡り初め/地元学校のマーチングバンド/ウェディングや金婚式)
2022	電線共同溝工事 道路改良工事		
2023	迂回路撤去 付け替え道路工事		
	工事の完成		
完成後		いただいたご意見	イベント開催
		<ul style="list-style-type: none"> 通りまるごとピアガーデン 宇迦橋の上で花火大会 橋を利用したファッションショー 	<ul style="list-style-type: none"> 軽トラ市やフリーマーケット スタンプラリー フォトコンテストや写生大会 記念切手の販売

出雲県土整備事務所 都市整備課 からのメッセージ

おかげさまで持ちまして全5回の神門通り線(2工区)ワークショップを無事終了することができました。通りの歴史から紐解いた今回のワークショップでしたが、かつて直線道と呼ばれた神門通りはいろいろな人の思いがあって現在に至るんだなということを改めて実感しました。2工区ワークショップを開催する前は「どうせ1工区の延長なんですよ?」とか「いろいろ1工区で議論しつくしたからね」という声もありましたが、結果、ワークショップをやって良かったなと思っています。みなさんの意見も直接聞けましたし、期待の大きさにプレッシャーも感じています。

大鳥居と宇迦橋のバランスを意識しながら通り全体としてわくわくする道にするにはどうしたらいいか、みなさんから出された意見の結集が今回のデザインになっています。神門通りは今後始まる二代目宇迦橋の架け替えを機にまた新たな歴史を刻んでいくこととなります。これからも地域に愛される道になるよう、長期間にはなりますが2工区の実業完了に向けて取り組んでいきます。なお、ワークショップにお忙しいところご参加いただきましたみなさま、大変ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。(秋)



島根県出雲県土整備事務所 都市整備課 〒693-8511 島根県出雲市大津町1139 TEL:0853-30-5667 FAX:0853-30-5675

ニュースレター

最終号!

神門通り線2工区ワークショップ

平成30年9月20日

～ 祈りと出会いの道へ。出雲の国のかけ橋、新しい宇迦橋をわたる。～

第5回
ワークショップ開催

まちづくりについて考える

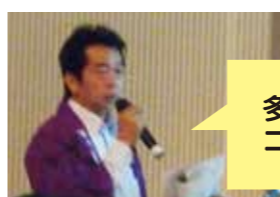
ついに
最終回!

平成30年7月20日(金)に神門通り線2工区ワークショップの最終回となる第5回ワークショップを開催しました。地域の皆様、沿道店舗の方など約60名の方にご参加いただきました。今回はこれまでのワークショップの総括として、宇迦橋とその周辺の最終デザインと、さらにこれまでの神門通りの取り組みを振り返り、これからのまちづくりについて意見交換を行いました。

1	2	3	4	5	6
前回までの振り返りと周辺の交差点計画	高欄の詳細デザイン	橋梁部・一般部の詳細デザイン	神門通りのまちづくりの取り組み	意見交換	まとめ
・出雲県土整備事務所	・景観アドバイザー 南雲氏	・景観アドバイザー 小野寺氏	・出雲県土整備事務所 ・神門通りおもてなし協同組合/神門通り甦りの会 多々納氏	・総合コーディネーター 桑子氏	



地域と連携したまちづくりの取り組み



神門通りおもてなし協同組合/神門通り甦りの会 多々納氏より説明

多々納氏のコメント

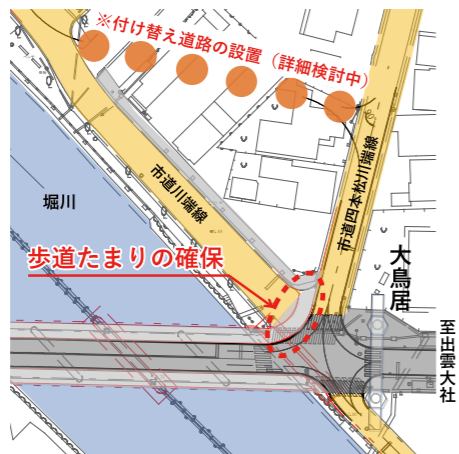
1工区では整備された通りを、どうみんなで活かしていくか、使っていくか、楽しんでいくか、ということをこれまで取り組んできた。2工区についてもこれから期待したい。

神門通りを活用したこれまでの取り組み

置き座の設置	日除けのれん	神門通り結灯路	縁結び人生ゲーム
来訪者へのおもてなしを目的に、まち歩き休憩に利用できる置き座を設置	個性あふれるデザインの日除けのれんを軒先に掛け、景観に彩りを添える	年末年始やお祭りなどでは、夜間も暖かい明かりで来訪者をもてなす	神門通り沿道の店舗をコマに見立てた人生ゲームでは、市内外から多くの人が参加

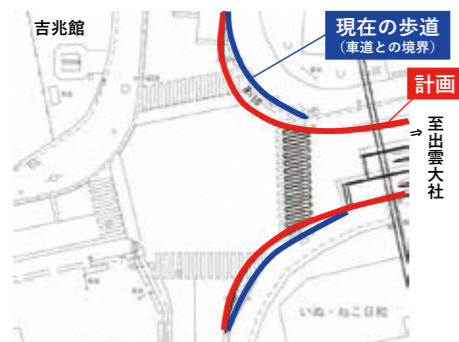
大鳥居前交差点

- 五叉路から四叉路に改良します。
- 市道川端線を車両通行止めにし、自転車や歩行者が円滑に通行できるように歩道内にたまりを設けます。
- 観光客が大鳥居を撮影する際にも車道にはみ出さず安全です。
- これに伴い、市道の付け替え道路の設置を検討しています。



吉兆館前交差点

- 交差点の隅切り角度を小さくする（交差点入口を少し絞る）ことで、横断歩道を短くし、神門通りに進入する自動車の速度を低下させ歩行者が安全に渡れるようにします。



松の移植

- 工事に伴い支障となる松を10本移植します。
- 工事完了後は、同じ場所に代わりの松を植えます。
- 移植先は神門通り周辺で調整中です。



高欄の詳細デザイン

光の範囲を広げる工夫

- 第4回ワークショップでは「縁石の方が暗いのが気になる」といった意見がありましたので、明かりの範囲を広げるよう配慮しました。

桁隠しのデザイン

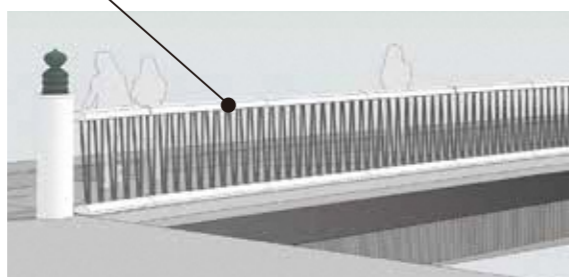
- 宇迦橋には電線類などの管路を渡す機能も求められます。これらの管路を目隠しするための「桁隠し」はあまり目立ち過ぎないシンプルなデザインを検討します。
- 橋桁は中央部がやや高くなりカーブを描いていますが、桁隠しは同じ幅で全体を通します。



桁隠しのイメージ
(松江市米子町 堀川にかかる米子橋)

笠石のデザイン

- 第4回ワークショップでは、雲などの彫り物ができないかという意見をいただきました。
- 笠石の側面には、立体的な「雲」のイメージを彫り込むことを検討しています。歩きながら触って気づいてもらえるような、さりげないデザインとします。

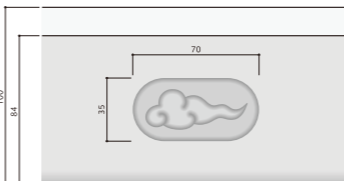


宇迦橋の完成イメージ



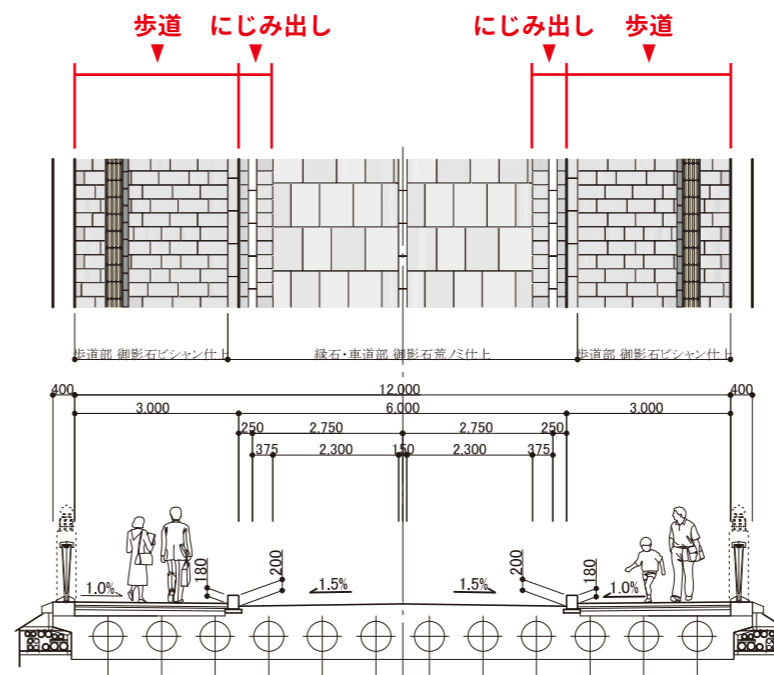
彫り込みの例

笠石の側面に彫り込む「雲」のイメージ



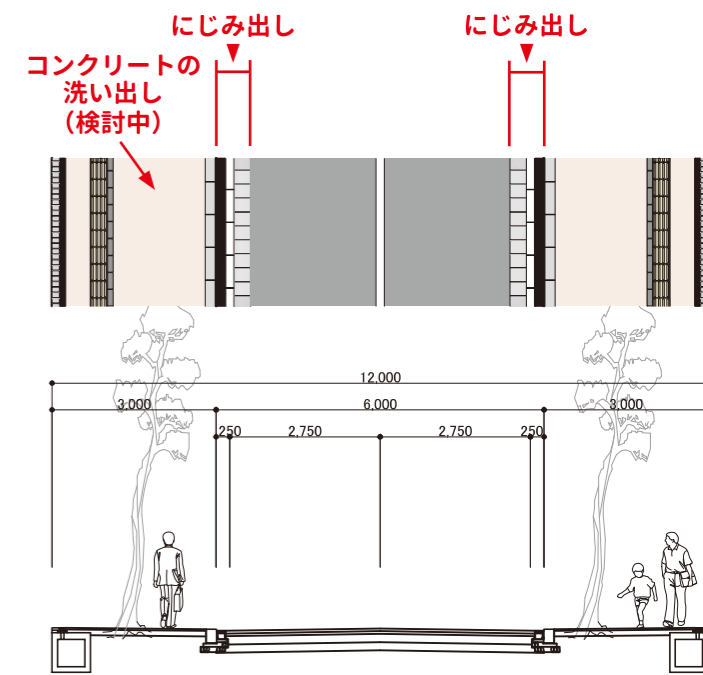
宇迦橋（橋梁部）

- 車道と歩道の間には縁石のみを立ち上げさせ、自転車や歩行者が車道に落下する危険性を減らします。
- 縁石の側面は荒い仕上げにし、夜間にも車道側から見えやすくします。



宇迦橋より南側（一般部）

- 車道はアスファルト舗装、歩道は風合いのある舗装とします。（コンクリート洗い出しにて検討中）
- 車道路肩には「にじみ出し」だけを延長し、歩行者の安全性を高めます。



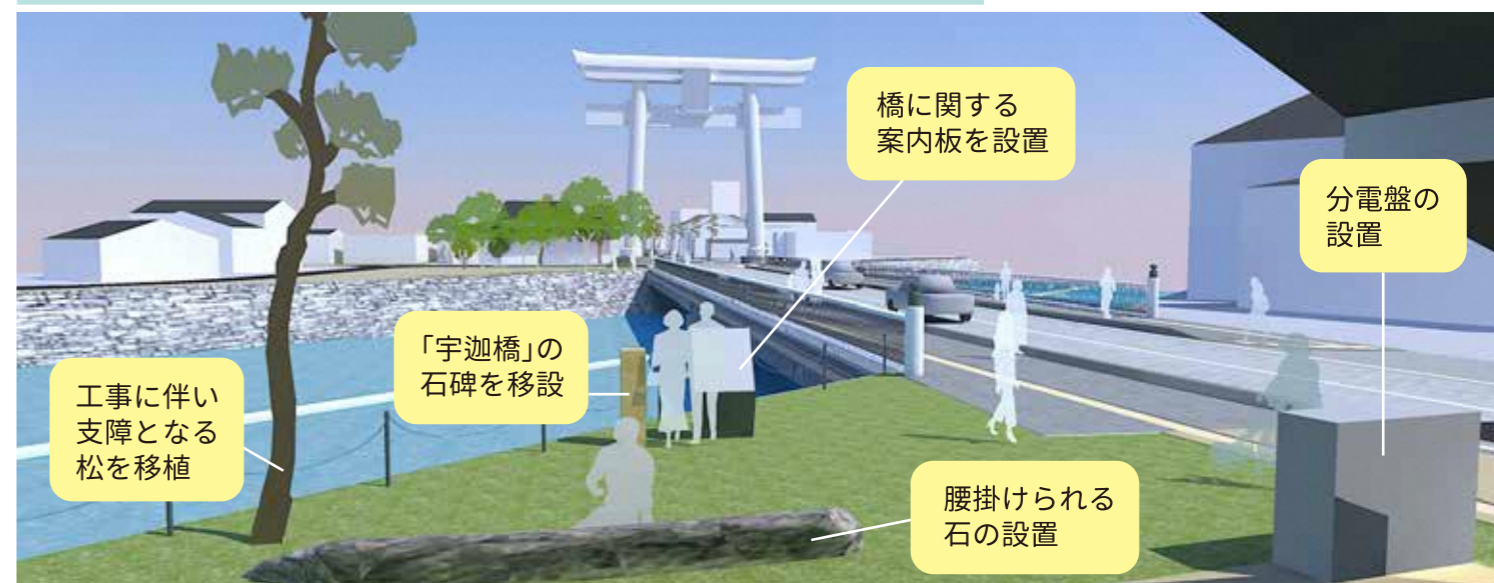
視点場の整備

- 橋の南側には、大鳥居と橋を眺めることのできる視点場を整備します。

宇迦橋より南側（一般部）には神門通りを真っ直ぐ見ることのできるポイントにマークをいれます。



橋と大鳥居を眺めることのできる「視点場」のイメージ



工事に伴い支障となる松を移植

「宇迦橋」の石碑を移設

橋に関する案内板を設置

分電盤の設置

腰掛けられる石の設置